

# 陰キャくんとつよつよJK 勉強恋愛フルボッコバージョン (仮題)

## 導入

【ドアが開く】

真→芹はどっちだと思う？

芹→いきなりなに？

真→男はブラとパンツどっちに弱いか

芹→いや知らんて

真→のっかってよー芹ー

芹→えー

真→うちのにはパンツだと思うんよねー

芹→なんで？

真→パンツの据え膳

芹→据え膳？

真→芹、男にブラ見られるそうになる機会ないっしょ？

芹→まあ…今もキャミ着てるし、透けると目線ウザいし…

真→んで冬はカーディガン

芹→うん

真→んな？見ようと思ったら結構無茶して行動起こさないと見れない

そもそも見れそうで見えない状況に出くわさない

芹→はあ…

真→でもパンツはスカートっしょ？

自分から行動起こさなくてもワンチャンある

でも見えない♥

芹→うん

真→男ってイけるかもって可能性チラつかされると途端に意識爆上げする生きもんだからパンツ見えそうって機会に出くわす程うちのパンツのことを意識するようになる

なんつーの単純接触効果的な？

芹→えー？

真→芹もあるっしょ？ちょっと声かけたらその後距離詰めてこようとするやつ

芹→あーいる？ほんっと嫌い邪魔目障り

真→さすがモテモテー

芹→モテてないしそんなのにモテても困る

真→あはっwそれが芹らしいわな

んでそんな微かな可能性ですから意識する男がパンツ見えそうなJKで溢れかえってる街中歩いたらどうなる？

芹→余計パンツのことを意識する

真→そういうこと♥だから男は日々街中わ歩く中でパンツに対する興味が強まってパンツに弱くなってるってこと♥

したがって男はどちらかというパンツの方が弱い♥以上♥

芹→はあ…

真→信じてないなあー

芹→いやそうじゃなくて、スカートん中基本黒パンじゃん見えてもパンツじゃないんだけど

真→芹さあ…いい？奴らは馬鹿だからスカートの中に見えるのを無条件でパンツって認識してんの  
うちらが認識しなくてもあっちが勝手にそう思うの

芹→馬鹿じゃん

真→そう馬鹿

芹→真璃、もう一つ

真→なに？

芹→その馬鹿がここにいんだけど…

真→は？んなわけ…うっわいたわ…影うっす

芹→ね？

真→まじか…え？お前こんなとこでなにやってんの？

芹→勉強してるガリ勉だ

真→えーいや自習室でやれよ

あちーからうちら冷房ガンガン効かせて独占するつもりだったんだけど

芹→ってかみんな放課後で部活とか遊んだりしてるんだけど一人？

真→まーた無自覚に致命傷貰ってるよ…

んでポッチなお前は机にかじりついてるわけだけど…どうせぼっちならうちらと遊ぶか？

芹→嫌そう、いや私も嫌だけど

真→んでもさーお前頑張ってもうちより下じゃん？

芹→真璃こいつのこと知ってるの？

真→いんや？うちがこのクラスのトップだから自然と下ってわけ

芹→あー

真→まー芹よりは上なんじゃない？補習ギリだし

芹→今それ関係ない

真→ちょっとやる気出してくれるとうちも楽になんだけどなー

ね？芹も一緒にやれば？勉強

芹→パス、その分こいつがやってくれるって

真→そっかwんじゃ待ち合わせまで時間あるしだべってくか

いいやお前はそのまま勉強続けて

教室はクラスのもんだし仲良く使おうな♪

それにい♡うちらが近くにいるとお♡あるかもよ♡いいこと♡

芹も♡

芹→ええー

はあ…

まーしたいんならすればいいんじゃない？

でもさあやるからにはちゃんとやりなよ

真→おーいいねー確かにうちらが申し訳なるくらい集中してたら認めてやんし謝るし出てくよ

芹→でも、たぶんそれ無理

真→だな♪

真→だってお前弱いから♡

芹→だってお前弱いから

真→っていうかうちの誘惑が強すぎるから♡

芹→手、止まってるよ

真→待ち合わせって行ったけどこれからうちらマゾおぢ虐めるために時間潰そうと思ったから

ちょうどいい遊んでやんよ

芹→お前は勉強してればいいよ

真→できるならな♡そんじゃ…♡

芹→よろしく

真→よろしく♡

● ● ●  
< ここまで >

多分こっちが次回作になると思います。

執筆カロリーの高い作品が続いたので軽いものと思い書き始めたものです。

しかし結局最後の方はくっそ高くなってましたが…。

でもすごい面白いギミックが詰まってるし、今回の作品がなかったら実現できなかった箇所があったりとこれまた僕だから作る作品だなんて思います。

芹ちゃんと真璃ちゃんの二人ともよりつよつよになってますし、被害者として前作とは関係のない陰キャ君を設定しましたのでこの作品から入っていただいてなんも問題もありません。

未希ちゃんの作品は少年漫画、バトル漫画を意識して書いてるのですが、芹ちゃんと真璃ちゃんを書く時は日常系を意識して書いてます。

そんな風に日常の延長線上で続けられるようなシリーズになればいいなあって思っているのでもし、興味がありましたらお付き合いのほどよろしく願いいたします。